

大相撲名古屋場所は、モンゴル出身の横綱同士の対決を鶴竜が制して(A)幕を閉じた。白鵬ともども全身を①コウチョウ(紅潮)させてぶつかった結びの一番は(B)見応え十分、手に汗を握った▼残念だったのは大関、②セキワケ(関脇)、小結陣のふがいなさだ。とりわけ(1)大関は4人全員が休場。昭和以降の相撲史で初めてという異常③ジタイ(事態)となった。星取表に並ぶ「ややや」「●●●」の列には目を④覆(おお)いたくなる▼床屋や居酒屋の⑤ダンギ(談議)で、政界はしばしば角界にたとえられる。「(2)横綱自民党。もう大関も小結もないんですから」。

今月初め、与野党の党首らが出演したTBSの番組では、そんな発言が出た。きのう投開票された参院選では、自民が綱の⑥カンロク(貫禄)を見せた▼とはいえ、その自民を率いる安倍晋三首相の⑦ガイトウ(街頭)演説では、野党を(C)なじる言い回しが(D)耳についた。「大うそ」「無責任」「あの野党、あの時代」。政権与党は国会で予算委員会の開催をたたくに⑧拒(こば)み、「老後2千万円」の報告書を受けとらないという挙に出た▼話を相撲に戻せば、全盛期の双葉山は常に(3)泰然自若の構えを崩さなかった。大鵬の持論は「横綱とは耐えること」。誤審騒動の際には「あんな相撲を取った自分が悪い」と⑨潔(いさぎよ)く受け入れた。(4)横綱自民と重ね合わせようにも、残念ながら隔たりは大きい▼今回の選挙では、「多弱」野党の⑩ダング(団子)レースから、立憲が頭一つ抜け出した感がある。ただ、私見ながらその実力は小結あたりか。三役が横綱に挑み、鋭くぶつかる。そんな政界大相撲を見たい。

〔2019年7月22日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)の4人の大関の「しこな」を答えよう。

(豪栄道) (高安) (栃ノ心) (貴景勝)

問三 傍線部(2)の意味をわかりやすく答えよう。

〔答例〕(政界は自民1強で、対抗するに足る議席を持つ野党がないこと。)

問四 傍線部(A)～(D)の意味を答えよう。

(A)「幕を閉じる」(終わりにする。)

(B)「見応え」(見るだけの価値。)

(C)「なじる」(相手の過失・欠点などを問いつめて責める。)

(D)「耳についた」(何度も聞かされて聞くのがいやになった。)

問五 傍線部(3)の読みと意味を答えよう。

(読み)(たいぜんじやく)意味(落ち着いていて物事に動じないさま。)

問六 傍線部(4)「横綱自民」の「構え」には、大相撲の名横綱と比べると、次の

(a)(b)の様子が窺える。(a)(b)の意味を持つ四字熟語を〔語群〕から

選び、漢字で答えよう。

(a)非常に慌てうろたえること↓(周章狼狽)

(b)恐れてびくびくしている様子↓(戦々恐々)

〔語群〕・いっきいちゆう・しゅうしょうろうばい・せんせんきようきよう